

令和6年度
全国学力・学習状況調査

○教科に関する調査の結果概要及び改善方向等について

○児童質問調査の結果概要について

令和6年10月

札幌市立西宮の沢小学校

【小学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善方向等について

本校の概要

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」
△正答率は、全国平均を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」
◆正答率は、全国平均と同程度だが、やや下回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」
▼正答率は、全国平均を下回っている。

「話すこと・聞くこと」
▼正答率は、全国平均を下回っている。

「書くこと」
△正答率は、全国平均を上回っている。

「読むこと」
◆正答率は、全国平均と同程度だが、やや下回っている。

今回の調査における課題

▶情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

▶日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えに役立つことに気付くこと。

▶目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

▶登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

改善の方向

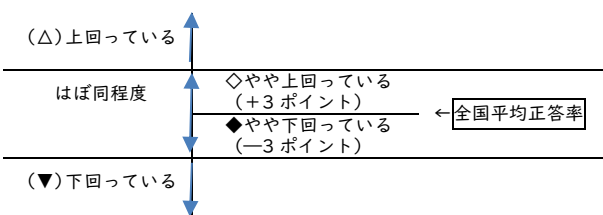
▶図示などにより語句と語句の関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりする学習活動の充実。

▶本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるような学習活動の充実。

▶伝え合う内容を検討する際に、自分が伝えたいことと聞き手の求めていることに応じて情報を整理するとともに、振り返りを通して情報を整理することのよさを考えることができるような学習活動の充実。

▶漠然としている登場人物の人物像を明確にしたり、想像した人物像の根拠となる描写をあきらかにしたりするとともに、同じ登場人物について、異なる人物像を想像した児童同士で交流するなど、交流の仕方やグループ編成などを工夫した学習活動の充実。

記号の意味



※「ほぼ同程度」は、全国平均率と比較して±3ポイントの範囲内。

小学校国語	R3	R4	R5	R6
学習指導要領の内容				
言葉の特徴や使い方に関する事項	△	▼	◇	△
情報の扱い方に関する事項			△	◆
我が国の言語文化に関する事項		▼		▼
話すこと聞くこと	△	◇	◇	▼
書くこと	△	◇	◇	△
読むこと	◆	△	◆	◆

【小学校算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善方向等について

本校の概要

【領域】

「数と計算」

- ◆正答率は、全国平均と同程度だが、やや下回っている。

「図形」

- ▼正答率は、全国平均を下回っている。

「変化と関係」

- ▼正答率は、全国平均を下回っている。

「データの活用」

- ◆正答率は、全国平均と同程度だが、やや下回っている。

今回の調査における課題

▶問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。

▶除数が小数である場合の除法の計算をすること。

▶直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。

▶速さの意味について理解すること。

▶簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること。

改善の方向

▶問題場面を図に表し、その図と問題文のそれぞれの数量の関係を比較し、捉えることができるような学習活動の充実。

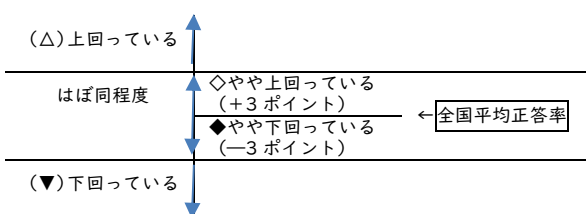
▶除数が小数である場合の除法の計算について、整数の場合の計算の意味や計算の仕方を利用して、計算するような学習活動の充実。

▶円周率を用いて直径の長さを計算によって求めるだけでなく、円周率が円周の長さの直径の長さに対する割合であることが理解できるような学習活動の充実。

▶道のりと時間が比例の関係にあることに着目して、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるような学習活動の充実。

▶目的に応じてデータのどの部分が必要かを判断し、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理し、表に表すような学習活動の充実。

記号の意味



※「ほぼ同程度」は、全国平均率と比較して±3ポイントの範囲内。

小学校算数	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
学習指導要領の内容				
数と計算	▼	◆	△	◆
図形	▼	▼	◇	▼
測定	▼			
変化と関係	▼	▼	◆	▼
データの活用	◆	◆	◇	◆

「児童質問調査の結果から」

質問事項とその回答から見える、本校児童の傾向と課題

※数字は、「当てはまる」・「どちらかと言えば当てはまる」(肯定的な回答)の合計。

○朝食を毎日食べていますか	・・・94.0%
○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	・・・82.2%
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	・・・90.5%

→ 例年の結果と比較して、規則正しい生活習慣の定着に改善が見られます。

○学校の授業時間以外の、普段の1日当たりの学習時間が	
1時間以上	・・・64.3%
30分以上1時間未満	・・・28.6%
30分未満	・・・3.5%
全くしない	・・・3.6%

→ 継続的かつ十分な家庭学習の取組の定着に課題が見られます。

○学校に行くのは楽しいと思いますか。	・・・85.7%
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	・・・98.8%
○自分には、よいところがあると思いますか。	・・・84.5%
○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	・・・89.3%

→ これらの設問の肯定的な回答のポイントが高いことに関しては、とてもよい傾向であると考えています。できる限り100%に近付くことを目指していきたいと思います。

○学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	・・・92.9%
○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	・・・96.4%
○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	・・・94.1%

→ 本校の子どもたちは「話す・聞く」ことを大切にして、友達と対話的、協働的に学びを深めようとしていることが分かります。

○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	・・・83.3%
○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができましたか。	・・・83.3%

→ 本校の子どもたちは、意欲をもって主体的に学習に取り組んでいることが分かります。また、振り返りの場を大切にしながら学びをつなげる意識が高まってきている様子が見えます。

○人が困っているときは、進んで助けていますか。	・・・100%
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	・・・98.9%

→ 他者に対する心遣い・意識の高さが素晴らしいと感じます。本校の子どもたちのよさの一つです。

総括

国語、算数、質問紙それぞれについて、数値をもとに分析を試みました。これはあくまでも「数字」を読み取った傾向の話です。数字の向こうには生きた子どもたちがいます。例えば、「日本全国では約94%の子どもたちが毎日朝食を食べている」、という調査結果を見て、「ほとんど全員か、大したものだ。」と考えてしまいがちです。しかし、この数字は今回の調査対象児童約100万人のうち、約6万人の子どもたちは毎日の朝食を摂らずに登校しているということを意味します。今回の調査結果だけを見て一面的に物事を判断せず、数値はあくまでも子どもたちの状況を知る一手段として捉える必要があります。西宮の沢小学校では、本調査の結果を参考にしつつ、目の前にいる子どもたちを見て、適切に関わることを第一に考えて指導を継続します。